

パナマでベネズエラウマ脳炎が発生

2010年6月13日 ProMED 情報(Telemetro)



パナマ保健大臣は、ダリエン Darien で、9カ月の子供がベネズエラウマ脳炎により死亡したことを確認しました。この感染症はヒトとウマに感染する人畜共通感染症で、蚊によって媒介されます。発熱で発症し、神経学的合併症を引き起こします。ほかに2名の子供が子供病院で集中治療を受けているということです。また同大臣は、ベネズエラウマ脳炎は通常死亡することはないが、栄養不良の患者では、死亡することがあると説明しました。

〔ProMED 調整者〕

5月6日、ダリエンで2頭のウマが本感染症にかかったことが、6月6日報告されました。

ベネズエラウマ脳炎は、中米南米北部地域で常在化しており、これらの地域への旅行者には感染の危険性があります。宿主は、野生げっ歯類とフクロネズミ(オポッサム)です。ウマにはワクチンがありますが、ヒトに関しては研究者と軍人以外の人にはワクチンは認可されていません。